



「狩猟者向け捕獲実績表示アプリ」のご提案

2017/9/22

風間 知治

アプリを作る、目的は「若手ハンターのために出猟のためのハードルを下げる」。

若手ハンターに

「よし、週末は“狩猟”に出かけよう」

と、思わせる。

年度毎に狩猟者から提出される捕獲実績を、オープンデータとして公開していただき、「何処で何が狩猟できるか」をマップ上に表示するアプリ作成します。

有害鳥獣の生息域やその生態系などの知識は、ベテラン猟師でしか知り得ない「宝」です。
この宝を地元の若者に残し、継承していくためのアプリと言えます。



現在の課題（狩猟免許所持者の推移）

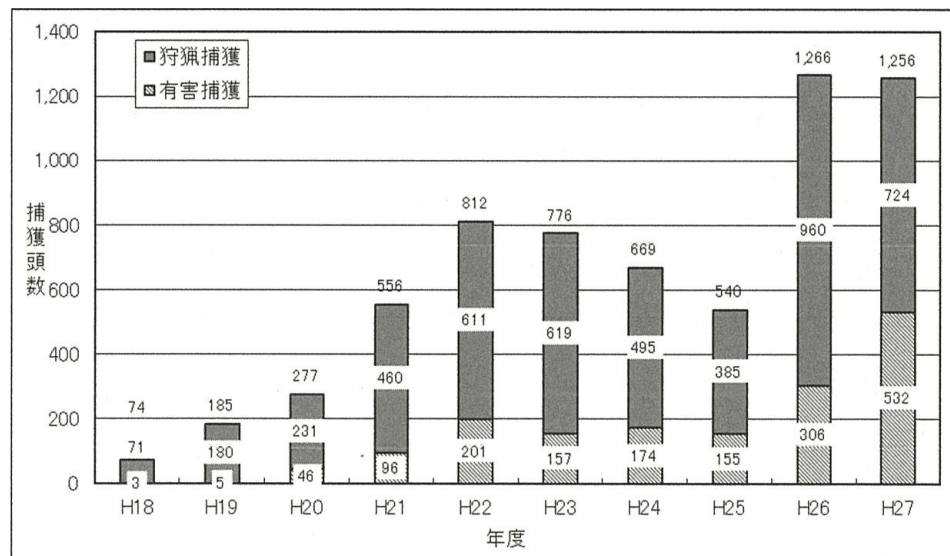
新潟県内における狩猟者登録件数は、平成10年には5,000件近くありましたが、平成27年度には2,600件程度まで減少しています。また、狩猟者登録者の内60歳以上が6割以上を占めています。

それに対して、イノシシの捕獲件数は年々増加しています。

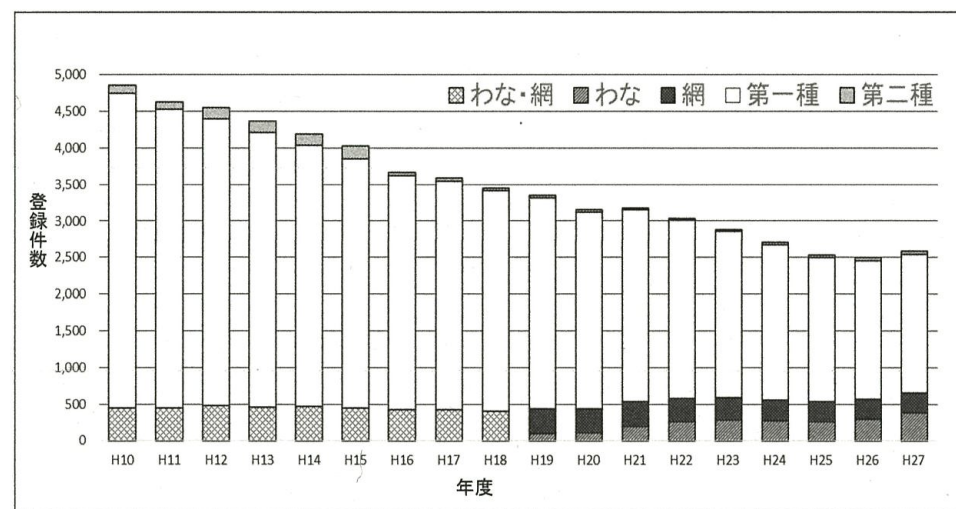
平成18年度には74頭でしたが、平成27年度には1,256頭まで増加しています。



**狩猟者一人あたりの負担が増加！
若手ハンターの増加が急務！！**



イノシシ捕獲数の推移
※有害捕獲（個体調整捕獲を含む）



狩猟者登録件数（種類別）

グラフは新潟県 HP 資料より転載

オープンデータ

年度毎に狩猟者から提出される捕獲実績を、オープンデータとして公開させていただきます。

狩猟者登録を受けた者は、捕獲した鳥獣の場所、種類、数量を、登録の有効期間終了後、30日以内に報告を行います（報告義務があります）。

捕獲場所は、狩猟者登録の際に登録症と一緒に送られてくる「鳥獣保護区等位置図」（ハンターマップ）の碁盤目状に仕切られたメッシュ番号で記載します。

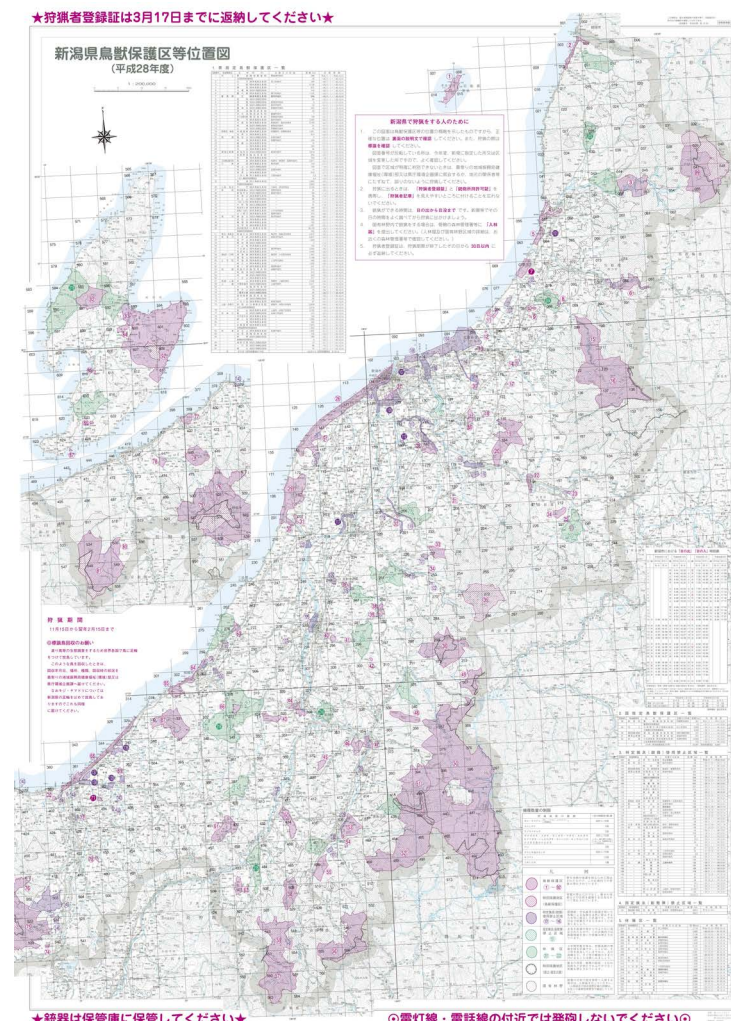
これらの情報を地図にマッピングすることで、どんな鳥獣が、どこで、どれだけ捕獲できたのが一目瞭然となり、若手ハンターでも出猟の容易に行動計画をたてられるようになります。



報告事項			
捕獲場所 (兵庫県鳥獣保護区等 位置図に記載されてい るメッシュ番号を記入)	鳥獣の種類	鳥獣の数量	備 考
223	シカ	1	
261	カルガモ	1	
258	シカ	1	
248	ヒトゲ	1	
248	カウズ	1	
242	カウズ	1	
248	ヒトゲ	1	
261	わがわが	1	
261	コガモ	1	
280	カルガモ	1	
260	カウズ	1	
262	コガモ	2	
280	カルガモ	1	

※ 捕獲場所ごと及び捕獲鳥獣の種類ごとに1行使用し記入して下さい。
 ※ 出猟カレンダーもあわせて提出頂くようにお願いします。
 ※ ご自分で記入頂いた出猟カレンダーを基に合計捕獲数を計算し、当該報告書に記入してください。

捕獲場所報告記入例



鳥獣保護区等位置図（ハンターマップ）

アプリ概要

■ 絞込機能

捕獲実績を、

- ・ 項目別
- ・ 種別ごと
- ・ 年度別
- ・ 猟具別

に絞り込むことができます。

■ 通知機能

ホーム画面には、Web上の新潟県（新潟市）からの、狩猟免許登録者向けの情報を表示します。

Web上の新潟県（新潟市）のHTMLを読み込む機能とすることで、サーバーへの機能追加なしに実装が可能です。

